

自由回答

男女共同参画に関することについて、ご意見・ご要望がありましたら、どんなことでも結構ですからご自由にご記入ください。

男女共同参画に関することについて、ご意見・ご要望をお聞きしたところ、計2,558人の方から回答が得られ、延べ330件の意見にまとめました。記入していただいた意見は、

- (1) 男女共同参画社会実現に向けての意見 (計90件)
- (2) 男女平等、男女共同参画についての意見 (計141件)
- (3) 男女共同参画センターに関する意見、男女共同参画行政への意見 (計15件)
- (4) その他の意見 (計84件)

の4項目に分類しました。意見の詳細を以下に記します。

(1) 男女共同参画社会実現に向けての意見

(計90件)

内容	件数
子どもの頃から社会に出るまでの間に男女の枠を越えるような学校教育・社会教育、家庭でのしつけが大事	19
保育所の増設や時間延長、保育料など、子どもを産み育てやすくするような施策を社会全体で進めてほしい	15
男女の基本的特性の相違を認め、男女の意識改善が重要	15
地域社会の中で女性がリーダーシップをとれるような行動・組織作りが必要 女性の能力も見出して、市議会・県議会・国会議員、町の役員も女性をいれるべき	11
男女がお互いをよく理解し、協力し合うことが大切 共同というよりも共働の視点が大事	10
DVはその人の幼児教育にあり、それが世の中の基本だと思う	1
欧米諸国との生活習慣の違いを考えずに、無闇に制度を変えたり作ったりせず、日本人らしい男女共同参画社会を考えて立案していくべきである	1
女性の意見を取り入れすぎていないか心配	1
母親の活動範囲を広げ、生きがいのある生活が送れるようにする	1
性格や身体能力など、地道に努力すればいい 育児・介護など福祉支援の充実を希望	1
女性が社会に出ると、家庭が疎かになり、子どもを1日の大半を他人に預けるが、そう なれば誰が母親かわからない	1
男性の人権、出産・育児をする女性の人権、育児・介護休暇の利用の推進に対する会社 の経営者や周囲の意識の向上が必要	1
男性優位の社会は田舎では顕著で、根底である意識を変えるにはよほど大胆な政策を以 てでしか変えられないと思う	1
難しい問題だが誰かが変えないといけないと思う	1

内容	件数
男性が育児休暇を取得したり、労働時間を短縮できるなどして仕事に専念しなくてもいい環境づくりが必要 子どもが小さい間は、男性が家庭にいる時間を多く取り、妻と協力することによって、女性（育児のために社会から離れている人）の社会参加が可能なのでは	1
夫が家事をすることに対し、世間からは批判的な意見もあるが、女性の意識を変えることも必要だと思う 小学校の常勤講師をしていたとき、妊娠した途端に教育委員会から退職を強制された教育委員会にも指導してほしい	1
一人ひとりが自分の周りにいる人たちを大切に思えるのが理想	1
一人ひとりが存在感のある唯一無二の人生のため、無駄のない生活を目指して勉強していくべき	1
道徳的社会の健全化について男女とも改め、青少年を正しく導くことが将来の男女の人権の尊重につながると思う	1
最終実現目標は明確なのか、現状がどの段階なのかによって対応が変わってくるのでは	1
法律を見直してほしい	1
男女共同参画社会を早く実現してほしい	1
家庭の中が変化しないのに、社会に出て何かしたいとは思わない	1
人権という言葉の意味・定義が不明で、また安定した社会を作るための公理を考える	1
男性・女性についてよりも、「人として」が最も大切なのではないか	1

（２）男女平等、男女共同参画についての意見

(計 141 件)

内容	件数
同権ではあっても同質ではなく、差別はよくないが区別は必要 男女の違いがある以上、役割、区別は存在するので、無理に平等と決めつけなくてもいいのでは 男女の体の仕組みの違いと体力差を充分に考え合わせた上で実現するべきもの 女性には女性の、男性には男性の役割があり、お互いが認め、よく理解して助け合い協力しあうのがベスト	31
男女共同参画社会のことについて、法・教育・報道機関等あらゆる面からわかりやすくPRしてほしい、情報をもっと開示してほしい、よりわかりやすい言葉で伝え、具体的な例を出してほしい どのような活動をしているのか、わかるようにしてほしい	22
子育て以上に大切な仕事があるのか、子育てを大切にする世の中になってほしい 柔軟性に富んだ社会であれば、各家庭それぞれに合ったスタイルでやっていける、各家庭の慣習は尊重すべき 家庭を円満に保つために、我慢や妥協は必要かつ重要、家庭を楽しく、苦しくても楽しくする	13

内容	件数
年配の世代では性に対する差別、男尊女卑が多く、改善は難しいと思う 年配の人への家庭での役割分担のPRや教育が大事 異世代間での認知度の違いもあり、理解が必要	13
男女雇用機会均等法は紙面上だけで、何も均等になっていないので、推進されるべき 出産・子育て後の職場復帰、希望の職種や時間帯・場所など条件のいい職場がない 会社での勤務時間の配慮や有休以外に、育休を充実させてほしい 社会・会社の理解と制度改革が必要	12
命や人権を大切にできる社会、安心して暮らせる町づくりを推進して欲しい 若い人達が様々な場面で善いことは良い、悪いことは止めるようにして良い社会を作 ってほしい 誰にでも参画できる世の中にしていけるべきである 勤務先での取り組みが、そのまま地域社会での取り組みにつながっているように思う	9
会社においても男女共同参画社会の活動、法律の周知が必要 職場には女性の力が発揮できる部署がない 性別による差別のない誰もが平等に活躍できる、より良い社会づくりが実現できるよう、 あらゆる角度からの行政の支援を期待 男女がもっと働きやすいように社会的な整備、経済安定と指導が重要	7
女性専用列車など女性の方が優遇されている場所があるが、男性にはあまりないので男 性専用もあっていいと思う 男性の人権を損なう結果をもたらしていないかということも、視野に入れる必要がある	5
男女平等なら同じように家事も行うべきで、家事・育児を職業として認め、収入を得る 仕事と同等のものとして位置づけることが必要	3
あらゆる機会に応じ、「各市町村だより」に男女平等の意識を持って生活している人たち の考え方等を掲載したり、県が取り組んでいることをもっとPRし、啓発活動を進め、 継続していくことが必要	3
男女共同参画等の様々な機関における平等感、平等の発想、志向性だけでは根本的解決 にはならないし、進まないと思う 男女共同参画なんて分野に対して関心も行動も伴わない	3
古くからの習慣は少しも変わらず、全て男性が上に立って行い、まだまだ女性の地位が 低い	2
男女平等社会の実現は気長に努力し、焦らず地道に変えていくことこそ大事である	2
10年～30年前に比べて文化・スポーツ等に女性も男性の中に加わって、積極的に参加す るようになり、とてもいいことだと思う	2
女性の意識や行動が消極的で、女性はまだ男性に食べさせてもらえると考えている人が 多い	2
自治会等で男性任せなところが多い	1
高齢化に伴い、男女間の役割、行動範囲は制約されているが、それにはどのように対処 すればいいのか	1
昔の風潮はどこへいったのか、もっと日本人として一人の人間として教育も見直さない と、これからの日本が危ない	1
男性に家事をさせる人が増加しているが、それは男女平等なのか 男女と父親・母親を間違えないでほしい	1
平等の世の中になり家事を全くしない女性が増え、離婚していく家庭が増えている	1
「男のくせに・女のくせに」という言葉が死語になったらいいと思う	1

内容	件数
自衛官・警察官・消防士は男性でなければダメだと思う	1
ジェンダープログラムを進めるべき	1
資格がなくても働ける職場、年齢や性別に関係なく賃金が変わらない仕事をしたい	1
自分自身のこともきちんとできていないのに、平等であるべきだというのはおこがましい	1
男性をたてながら、女性の人権も尊重されるように	1
女性だからと甘える考え方はよくない 暴力は誰に対してもよくない 家事も育児も立派な仕事だという意識がない人が多い 介護に頼りすぎる年寄りが多すぎる 男女平等に男女の体力差や能力差を加味しなければいけない	1

(3) 男女共同参画センターに関する意見、男女共同参画行政への意見

(計 15 件)

内容	件数
男女共同参画の公の発展も大事だが、自分自身も雇用が大問題だと思う 働くところもないと若い人たちが嘆いていて気の毒、もう少し心にゆとりのある暮らしを 働く場があればいい 男女参画というより、現状仕事が少ないのが困る	4
余った税金を後期高齢者の保険料に回し、老人が住みよい社会にしてほしい 高齢でも中年・青年に劣らない人もいるが、その人々の活躍の場がない 子育てしながら介護できる、介護施設を充実させてほしい 介護認定も厳しく、家庭は崩壊寸前、何とかしてほしい	4
「フレンテみえ」のような施設がほしい	1
夫婦間や他の家族についての悩みが生じた場合、気軽に相談できる機関が充実していないので、今後この様な機関が設けられることを望む	1
三重の将来を考えたら他にやるべきことがあるので、「生活・文化部、男女共同参画・NPO室」を解散すべき	1
どのような活動をしているのか理解できない	1
女性問題の相談員に更に傷つけられる例もあり、相談員に教育を十分に受けさせ、基本を学ばせる必要があるのでは カウンセラーの心のケアにも目を向けてほしい カウンセラーをボランティアにやらせることに対し、行政の考え方を疑う	1
仕事と育児があるのに地域の活動ができるわけがない	1
個性が尊重される社会への啓発	1

(4) その他の意見

(計 84 件)

内容	件数
アンケート調査に関する意見	53
その他行政に対する意見	19
その他の意見	12